

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-5	
PDCA	主要事業名	岩滑公民館改築等事業	部課名	教育部 生涯学習課	担当	鈴木	
					内線	23-7341	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進						
	全体事業期間： 令和元年度～3年度 全体事業費等： 486,322千円						
	会計 一般会計 歳出科目 09.05.02.04.51						
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 213,900千円						
	事業概要等	事業概要： 地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区の公民館を、市民が安全かつ快適に利用できるよう、改築または大規模改修により環境整備を行うもの。昭和39年度に建築され、54年が経過している岩滑公民館の改築を実施する。					
		事業目的： 施設の安全性、利便性、機能性を向上させる。					
		事業内容： 建設後55年が経過している岩滑公民館について、生涯学習活動や地域活動の拠点としてより安全かつ快適に利用できるよう令和3年度は現公民館を解体し、同敷地内での新公民館に建設に着手する。					
	D 値得られた成果と実績	問題点・課題等： 地域住民の意見も取り入れながら、公共施設等総合管理計画に基き事業を遂行する。					
		予算額	主要事業とする理由				
		212,338千円	施設の老朽化が課題となっている地区公民館を順次順次建て替え対応等していくことが、地域の生涯学習活動の活性化につながるため。				
財源内訳		得られる成果					
市費		改築工事により施設の安全性と機能性、利便性が高まり、多世代の利用が促進されることにより地域活動の活性化が期待できる。					
120,626千円		目標値や目指すべき状態					
国費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
43,712千円		実績値	—	—	—	—	
県費		目標値	—	—	—	—	
0千円		実績値					
その他	目標値						
48,000千円	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	決算額	得られた成果					
	152,494千円	地域活動の活性化が期待できる公民館の建設が進んだ。					
		成果指標					
		令和3年度	単位				
		実績値	—	—	—	—	
A 今後の課題の解決に向けた	事業の評価・課題	B 岩滑区の代表者、岩滑公民館の職員、利用者の意見を反映させた実施設計をもとに、予定通りに旧公民館の解体工事を行うとともに、新公民館の建設工事を進めた。新公民館の管理運営等について、地域住民と意見交換を年4回行った。					
	今後の事業の方向性	改善推進 令和4年度に新公民館が完成するため、今後の管理運営方法等について地域住民と合意を図った上で、新公民館を滞りなく開館させる。					
	観点別評価	必要性	有効性	効率性			
	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト 削減余地 ※対象・手段の変更	ない			
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					

目標項目（予算計上時に作成）  
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）  
主要施策の成果報告書で活用